

防コミの歩き方



六甲山ふれあいのまちづくり協議会 ～ 第22回六甲山防災フェアを実施しました! ～

六甲山地区では昭和の時代より、自主防災組織を立ち上げ、さまざまな自主防災活動を実施してきました。そして、阪神・淡路大震災の翌年に灘区最初の防災福祉コミュニティとして六甲山防災福祉協議会が結成され、現在は六甲山ふれあいのまちづくり協議会が防災福祉コミュニティ活動を実施しています。

●六甲山防災フェア!

六甲山最大の防災イベントである「第22回六甲山防災フェア」が6月7日に実施されました。当日は入梅2日目の梅雨晴れに恵まれ、予定通り訓練を実施することができました。



訓練は、準備体操から消火器訓練、バケツリレー訓練、地震体験訓練、煙体験訓練と続き、その後消防音楽隊の演奏、消防機動隊のヘリコプターによる救出訓練の見学、最後は灘消防団、各事業所の自衛消防隊、ふれあいのまちづくり協議会消火班による合同一斉放水で訓練を締めくくりました。

消防音楽隊の演奏では、「坂本九メドレー」や「Y.M.C.A.」など、大人だけでなく六甲山小学校の児童やI.P.M.六甲山研修センターの外国人研修生も全員で合唱したり、また消防ヘリコプターの活躍を間近で見る

など大盛り上がりでした。



●六甲山は自分たちが守る!

六甲山地区は、過去に臨時消防出張所が開設されていた時期もありましたが、現在災害が発生した場合、消防車等が駆けつけるまでおよそ20分近くかかってしまいます。このため、住民だけでなく六甲山にある事業所の自衛消防隊や小学校、そして消防団も一体となって災害対応にあたらなければなりません。日ごろから地域内の連携をとり、今後も防災力の向上に努めていきますので、灘消防署の皆さんや関係機関の皆さんのご協力をお願いいたします。



(六甲山ふれあいのまちづくり協議会
委員長 北野 勇)